

団体名	日本・ネパール文化交流倶楽部	略称	交流倶楽部
外国語表記	Japan-Nepal Cultural Exchange Club		
代表者	【役職名】 代表 【氏名】 サンジブ・アリアル		
団体格	特定非営利活動法人		
設立	2013年5月29日	会計年度	6月1日から5月31日
事務局	【役職名】 代表 【氏名】 サンジブ・アリアル 所在地 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-7-8 ADビル1階 ネパールの家庭料理「カトマンドゥ」内 TEL (022)256-7851 FAX (022)256-7851 E-mail japanxnepal@gmail.com URL http://japanxnepal-club.com/		
会員数	役員 4人 団体会員 団体	個人会員 140人	有給職員 人
年会費	団体 / 10,000円	個人 / 1,000円	
財政	基本財産 / 千円	年間事業費 / 7,820千円	
設立目的	本倶楽部は日本国内やネパールでの活動を通じて、日本とネパールの国際交流と相互理解を目的とし、それに関わる情報収集・提供、イベントの企画・実施、宣伝・運営などを行う。また、両国に限らない『楽しい文化振興・国際交流・異文化理解』の一助となることを目標とする。		
主な事業	<p>交流倶楽部の活動は「楽しく、顔の見える日本とネパール両国の文化や人に親しむ」ことを主眼とし、以下をこれまで～これからの主な活動内容としています。</p> <p>1. 日本でのネパール留学生との交流活動</p> <p>日本に生活するネパール人は来日当初日本人と交流が出来ず孤立してしまう為、年に数回、主に仙台の会員と留学生の交流会を開催し、交流を通じて会員と共に彼らの日本語上達や異文化理解を図っています。そうした初めのつながりを通じて、母国に帰国した際には少しでも社会の発展に活用し貢献できる人材となることを重要視しています。          ニュースレター「パイラ《歩み》」（年2回発行）、報告会の開催、報告書などを発行し、活動内容を詳しく報告しています。</p> <p>2. ネパール国内の教育環境改善支援『フューチャーフラワー基金』</p> <p>現在、112名の学生と日本の支援者を1対1で結び、年に2度現地を訪れ、交流を深めると同時に直接学費支援を届けています。支援希望者の募集は年2回で、支援対象となる子供はスタッフが直接現地を訪れ、農村社会でも底辺の子供たちを面接して選出しています。そうして出逢った支援者と子供は、最低でも中学卒業を目標に、写真や手紙などを通じて交流します。</p> <p>3. 現地事務局の設立、および学費支援終了後の人材育成、自立支援、起業支援等</p> <p>当団体のネパールで行われる事業は、主に貧困層の多い農村部を中心に、さらに伝統的なカースト制度による差別を受け易い身分の出身者をターゲットとしており、ネパール社会全体の底上げを図るといった目的があります。          日本の支援者や若者がたとえ1度だけでもネパールの農村部を訪れ、社会の底上げの大切さを理解できる様、交流施設（事務局）の建設を計画しています。観光客としてではなく異文化に触れ、さらにそこを拠点としてより広い地域へ支援活動を届けられる様、日本の善意とネパール現地人の手で作り皆で運営していきます。</p> <p>農村部での交流拠点をきっかけに、ネパール・日本両方の若者たちの語学習得、農業技術・研究、工業、観光業など、あらゆる分野での人材育成を兼ねた職業訓練、自立・起業支援などを含む事業の展開を計画しています。</p>		
一言PR	来日34年の日本人をこよなく愛するネパール人理事長と一緒に『人と人との交流』を通じて、本当のネパールを実感しませんか？親道家が多く、ヒマラヤ山脈の大自然に抱かれるネパールは日本からもリピーターが多く、訪れる多くの人は一歩行ったらその魅力に取りつかれる場所です。 仙台のネパール人留学生との交流やネパール農村の子供達の学業支援事業が、お互いの距離と理解を縮め、より豊かな人生へのきっかけになればと願いつつ、日々活動しています。活動拠点はネパールの食文化を紹介する「ネパールの家庭料理カトマンドゥ」。当団体の活動と日本とネパールの子供達の未来を応援して下さるサポート会員様も随時募集しています。		